

## 「業務連携プラットフォーム」の立上げと試験運用

昨年春から続くコロナ禍の中で、会員同士の交流も滞りがちになり、このままでは設計業務の需要停滞、先細りが今後さらに加速することも考えられます。

こうした昨今の状況に柔軟に対応すべく「業務連携プラットフォーム」を立ち上げます。これは支部内の事務所同士が必要に応じ、業務ごとに離散集合できる環境を整備するというものです。具体的にはSNS、メール、ホームページ等を介して、仕事仲間「チームメイト」を探す募集側と、それに応じる応募側を結び付ける仕組みです。このプラットフォームのメリットを以下にまとめます。

### メリット1：事務所規模に縛られない業務規模

「知り合いの事務所に頼んだがどこも忙しく断られた」  
「コンペ・プロポに参加したいがうちだけでは手が足りない」

こうした状況に柔軟に対応できます！

### メリット2：業種の拡大と品質向上

「オフィスの依頼が来たがうちは経験が浅く、得意な事務所と組みたい」  
「医療施設が初めてなので誰かサポートしてほしい」

得意分野が異なる事務所とチームを組めば仕事の幅が広がります！

### メリット3：思わぬ相乗効果

「そういうやり方もあるのかあ」  
「このソフトは使いやすいからうちでも使いたい！」

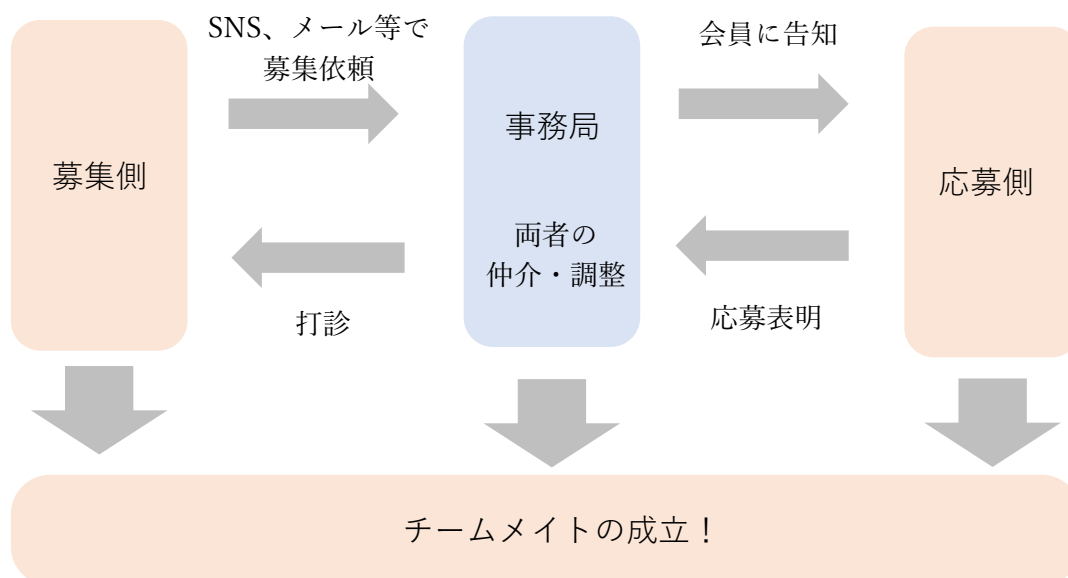
今まで一緒に仕事をしたことが無かった会員同士がチームメイトになることで、お互い新しい発見があり、その後の仕事に良い影響を与え合います。

### メリット4：支部全体の活性化

支部内で仕事を融通しあうことで積極参加する会員が増え、ひいては支部全体の活性化、若い世代の加入にもつながります。

## ●運用方法

業務連携プラットフォームではチームメイトの募集側と応募側の橋渡し役として、事務局が中に入ります。まず募集側が要件を事務局に伝え、それをもとに事務局が会員に告知します。例えば想定以上の応募数になったり、あるいは足りないなどした場合、事務局が募集側と相談しながら調整し、両社の希望がなるべく沿うようにしていきます。



## ●今後の予定と皆様へのお願い

このプロジェクトは杉並支部初の試みです。先行事例として支部会員3社による鋸南町都市交流施設周辺整備プロポーザル参加については先日お知らせした通りです。これを試金石にプラットフォーム化に踏み切りましたが、しばらく試験運用期間を設ける予定です。途中経過を随時、支部の皆様にご報告し、情報共有しながら進めてまいります。円滑な運用が実現するためには、チームメイトとなった会員同士の自助努力も必要となります。課題や問題点等があれば随時、改善していきますので、気づくことがあれば事務局までご連絡ください。

事務局：(株)小林幸司建築設計事務所 小林幸司  
TEL：03-5347-6502  
E-mail：kk@kkarc.co.jp